

From Ibigawa S A B O

今年度も残りあと僅かとなり、工事も次々と完成しています。今年度は昨年度の補正予算と合わせ、ほぼ例年の2倍の事業費でしたが、地域の皆様のご理解とご協力により、20箇所にて工事を進めることが出来ました。そのうちの8箇所については、今年度の工事をもって竣工します。今後も当事務所では、砂防施設の整備により地域の安全と安心を守り、地域の発展に貢献していきたいと考えています。

流木捕捉効果を高める為に =上葛谷=

本業市根尾西板屋(ねおにしいたや)地先で工事を進めてきた上葛谷(かみくずたに)砂防堰堤流木対策工事(施工:株所組)は、流木捕捉機能を高めるため、既設砂防堰堤の水通し部の一部を切り欠いて、鋼製の流木止めを設置する工事で、今年度予定した工事が完成します。

本工事では、堰堤前面へ腹付けコンクリートで補強も併せて行いましたが、堰堤前面へ行くための工事用道路を作る事が出来なかったため、全てクレーンによる持ち上げ、持ち下げ作業を余儀なくされました。

来年度も引き続き工事を行い、堰堤の機能アップの完了を目指します。



上葛谷砂防堰堤

既設堰堤がパワーアップ =琴谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先で工事を進めてきた揖斐川流木対策工事(施工:株ヤマモト)の琴谷(ことたに)工区は、既設の琴谷第1砂防堰堤の流木捕捉機能を高めるため、上葛谷同様の鋼製の流木止めを設置する工事が完成します。

本工事の施工は冬期となり、琴谷は北向きに流れる溪流で、工事場所の南側に山があるため、ほとんど日にあたらず、地面が凍ったままの日が続くなど、厳しい現場条件でした。

今年度の工事をもって堰堤の機能アップは完了します。



琴谷第1砂防堰堤

現場技術者の声



監理技術者
株所組
守田 康司 さん

当現場は着工と共に大幅な変更が有り、工事のほとんどが冬期となりました。現場事務所を現場より2km程下流位置に構えたのですが、現場事務所では降雪がない時にも現場では、雪が吹雪いている様な立地での施工であったにも関わらず、下請け業者の方々のご熱意のおかげで、工程通りに現場を進められ、無事故で完成する事が出来そうです。

最後に、東・西板屋地区及び諸家地区の方々のご理解とご協力に感謝致します。



監理技術者
株ヤマモト
赤堀 祐 さん

当初の施工方法と異なり限られたスペースのなかでのクレーン作業を強いられました。材料の搬入搬出・資機材の搬入搬出に大変苦労しました。しかし、協力会社の皆様とのコミュニケーションを密に図りながら工事を進めてきた結果、工期限内に完成することができそうです。

また、地元の皆様のご理解・ご協力いただきありがとうございます。

里山探検隊 H26 隊員募集中!

~揖斐川上流の魅力を探して見ませんか~

募集要領は[ココをクリック](#) (事務所HPへ)

縁の下の力持ち =緊急作業=

当出張所で管理する砂防施設等が、集中豪雨などによる出水等により被害を受けた時に、緊急的な復旧等行ってきた揖斐川出張所管内緊急作業(施工:揖斐昭和建设株)も、今年度の作業が完了しました。

今年度当事務所管内では、幸いにも土砂災害に見舞われるような事態は起こらず、緊急的な復旧を行う事はありませんでしたが、防護柵等の安全施設の補修など、細々とした作業ですが、安全に関わる重要な作業などを行っていただきました。



天神堂岡谷の防護柵補修



現場代理人
揖斐昭和建设株
樋口 晃彦 さん

本工事を無事完了するにあたり、作業をさせていただいた近隣住民の皆様、ご協力ありがとうございました。本工事は、揖斐地区・根尾地区と広範囲にわたり行われる作業です。緊急を要する作業の為、個々の作業期間は限られ、迅速に対応しなければなりませんでした。現場代理人・作業員一同全力で工事を進めることができました。何より、無事故・無災害で工事を終えることができました。揖斐昭和建设の工事看板を見かけられたら、声を掛けていただくと幸いです。本当にありがとうございました。

渓流保全工が竣工 = ドン谷 =

揖斐川町坂内坂本地先で工事を進めてきたドン谷渓流保全工(施工:西建産業(株))は、諸家(もろか)集落内を流れるドン谷の流下断面を拡大し、流路の安定化を図る工事です。

本渓流保全工は、平成22年度より行われてきましたが、本年度の工事をもって竣工しました。

集落内の工事ということで、工事中は周辺の皆様には何かとご不便をおかけしましたが、皆様のご理解・ご協力により無事竣工する事ができました。



ドン谷渓流保全工

施工箇所は諸家集落内にあつて標高は450m前後と高く、豪雪地域でもありました。

本工事における課題は生活道路を確保し、供用開始されている上下水道を仮切り廻しながら、多種多様の構造物を施工しなければならないことでした。幾多のトラブルもありましたが、近年希に見ない豪雪ならぬ少雪と天候にも恵まれ、また、地元の方々のご協力もあつて完成させることが出来ました。この場をお借りして、地元の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。



監理技術者
西建産業(株)
河瀬 伊織 さん

砂防堰堤が竣工 = 敷原谷 =

本巢市根尾長嶺(ねおながみね)地先で工事を進めてきた敷原谷(しきはらたに)第1砂防堰堤工事(施工:田中建設工業(株))は、下流の門脇(かどわき)や長嶺集落を土砂災害から守り、根尾川本川への急激な土砂流出による河床上昇を抑制することを目的に、砂防堰堤を建設する工事です。

本堰堤は、平成21年度から工事が行われてきましたが、本年度の工事をもって砂防堰堤は竣工しました。

本堰堤は、現場で発生する残土を有効活用するために、当事務所で初めて砂防ソイルセメント(INSEM工法)にて施工されました。



敷原谷第1砂防堰堤

現場付近に数件の民家が有り、工事車両によって土ほこりが発生しない様、人による高圧水洗浄で路面汚損を防止しました。また、現場においては、本堤左岸側の管理用道路の山留ブロック積が、高さ5m+5mの2段構造で、上段のブロック積の延長が短く、作業場所の確保や荷揚げに苦労しつつも、無事工事を完成する事ができました。

地元の方々や関係各社のご理解ご協力に感謝申し上げます。



現場代理人
田中建設工業(株)
兼松 達矢 さん

再度災害を防止する為に = 下谷 =

揖斐川町東津汲(ひがしづくみ)地先で工事を進めてきた下谷(しもたに)第2砂防堰堤道路工事(施工:榊ヤマモト)は、平成20年9月の西濃豪雨時に土石流が発生し、下流の東津汲集落や国道303号等に被害をもたらした下谷に、2基目となる砂防堰堤を建設するために、既設の林道等を拡幅する工事で、今年度予定した工事が完成しました。

本工事は狭い林道の拡幅工事で、片押し施工による工事でしたが、現場の創意工夫により何とか工期に間に合いました。

来年度も引き続き道路工事をを行い、早期の砂防堰堤工事着手を目指します。



下谷林道の拡幅工事

鋼製砂防堰堤が竣工 = 内谷 =

揖斐川町外津汲(とつくみ)地先で工事を進めてきた上記工事の外津汲内谷(うちたに)工区は、平成20年9月の西濃豪雨時に土砂流出があり、流域の荒廃が進んだ内谷に外津汲内谷第1砂防堰堤を建設する工事です。

本堰堤は、林道の補償工事を含め平成21年度から行われてきましたが、本年度の工事をもって竣工しました。

本堰堤の完成により、下流の外津汲集落を土砂災害から守ると共に、揖斐川本川への急激な土砂流出による河床上昇を抑制します。



外津汲内谷第1砂防堰堤



現場代理人
榊ヤマモト
藤原 寛実 さん

下谷の現場は砂防堰堤を施工するための既設林道拡幅工事でした。

狭い林道での作業に大変苦労しました。また、工事区域内にある簡易水道は、生活に欠かせない大切な上水を供給しており、埋設水道管に気を使う作業でしたが、地元住民の皆様や、協力会社の皆様のご理解ご協力のもと無事工事を完成させることができました。ありがとうございました。

今年度のクマタカ通信の発行は本号で最後となります。読みやすい紙面づくりに心がけてきましたが、いかがでしたでしょうか。

来年度も体制を整えて、引き続き発行していきたいと考えています。どうぞよろしくお祈りします。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp